

物実験モデルを用いたオッセオインテグレーション崩壊機序の検索. 第39回日本口腔インプラント学会学術大会ポスター賞(デンツプライ賞) 2009年9月27日

- 2) 加来 賢, 小松義広, 三品裕司, Ko Ching-Chang, 魚島勝美: 成体歯根膜における神経堤由来細胞の分布と幹細胞マーカーの発現. 第2回再生補綴医学研究会若手再生補綴医学賞 finalist 2009年11月27日

【その他】

- 1) 魚島勝美: 外国人客員研究員 Ioana Baltag (ルーマニア), 2009年10月19日~2009年12月18日

歯科矯正学分野

【論文】

- 1) Ohishi M, Harada F, Rahaman F, Saito I, Kawano Y, Nozawa-Inoue K, Maeda T: GDNF expression in terminal Schwann cells associated with the periodontal Ruffini endings of the rat incisors during regeneration. *Anat Rec* 292(8): 1185-1191, 2009.
- 2) Yahata M, Yamada K, Hayashi T, Saito I: Unilateral condylar bone deformity and slope of articular eminence related to mandibular asymmetry. *Cranio* 27(4): 261-267, 2009.
- 3) Torisu T, Yamada K, Fukui T, Yamaki M, Nakamura J, Saito I: A cross-sectional study on the relationship between craniofacial morphology and the coronoid process. *Eur J Orthod*. 31(6):613-9, 2009.
- 4) Fukushima-Shinzawa M, Kanaya T, Kaneko N, Morita S, Miyazaki H, Saito I: Availability of air powder polishing with crystalline cellulose as a prophylactic method for orthodontic patients with a multibracket appliance. *Orthodontic Waves* (in press).
- 5) Watanabe Y, Mohri T, Takeyama M, Yamaki M, Okiji T, Saito C, Saito I: Long-term observation of autotransplanted teeth with complete root formation in orthodontic patients. *Am J Orthod Dentofacial Orthop* (in press).
- 6) 寺田員人, 吉田 満, 佐野奈都貴, 齋藤 功, 宮永美知代, 故敏: コンピュータグラフィックを用いた矯正治療後の表情認知. 顎顔面バイオメカニクス学会誌 14 (1) : 1-13, 2008.
- 7) 小野和宏, 八木 稔, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝

文, 齋藤 功, 興地隆史, 前田健康, 山田好秋: 新潟大学歯学部歯学科の新教育課程とその評価. *新潟歯誌* 39 (1) : 29-40, 2009.

- 8) 渡辺 厚, 毛利 環, 渡邊直子, 渡邊洋平, 宮崎秀夫, 齋藤 功: 日本における Index of Orthodontic Treatment Need を用いた不正咬合の疫学調査. *Orthod Waves-Jpn Ed* 68 (3) : 142-154, 2009.
- 9) 小田陽平, 小林正治, 永井正紀, 泉 直也, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齊藤 力: 口蓋裂がある患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. *日口蓋誌* 34 (3) : 253-260, 2009.
- 10) 小田陽平, 小林正治, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤功, 齊藤 力: Low-profile チタン製骨接合材の下顎枝矢状分割法における有用性. *甲北信越矯歯誌* 17 (1) : 46-51, 2009.
- 11) 小原彰浩, 寺田員人, 松原大樹, 越知佳奈子, 齋藤力, 齋藤 功: 顔面軟組織形状と歯列石膏模型の三次元データ統合精度の検討. *日顎変形誌* 19 (4) : 193-198, 2009.
- 12) 福井忠雄: 新潟大学医歯学総合病院・矯正歯科診療室における矯正用インプラントアンカー(仮称)を用いた矯正治療の現状と問題点. *甲北信越歯誌* 17 (1) : 18-21, 2009.

【研究費獲得】

- 1) 齋藤 功, 渡邊直子: 咀嚼—機械的応力—に対する骨リモデリングのシミュレーションから下顎 偏位を解明する. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C), 19592348, 2009.
- 2) 原田史子: 歯根膜神経終末における新規イオンチャネルの解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手(B), 21792064, 2009.
- 3) 越知佳奈子(研究代表者): 統一モデリング言語による顎顔面非対称症例の客観的評価方法の開発とその臨床応用. 文部科学省科学研究費補助金研究若手研究(B), 19791570, 2009.
- 4) 原田史子: 歯根膜神経再生過程に出現する, 遊走シユワン細胞の役割. 平成21年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2009.
- 5) 越知佳奈子(研究代表者): 顎顔面領域における対称性評価システムの構築. 平成21年度新潟大学プロジェクト推進経費 奨励研究, 2009.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Susami T, Asahito T, Saito I, Uchiyama T, Nishio J, Nagahama K: Current status of inter-center collaboration in Japan: 11th International Congress on Cleft Lip and Palate and Related

- Craniofacial Anomalies. Fortalenza, Brazil, 2009.9.10-12, Proceedings of 11th International Congress on Cleft Lip and Palate and Related Craniofacial Anomalies: 217-223 : 2009.
- 2) Saito I: Orthodontic remedy for adult patients with open bite and/or facial asymmetry treated with or without orthognathic surgery: 5th International Edgewise Orthodontic Congress, Xian, China, 2009.9.18-20, Program book: 20-21, 2009.
 - 3) Saito I: Clinical considerations in adult orthodontic treatment. 7th International Orthodontic Congress, Sydney, Australia, 2010.2.6-9. Programm book: 49, 2010.
 - 4) 齋藤 功, 小林正治: シンポジウム 2 「顎変形症治療ゴールのコンセンサスを求めて」, 外科的矯正治療のゴール設定にあたって配慮していること. 第 20 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 仙台, 2009.6.4-5, 日顎変形誌: 48-49 頁, 2009.
 - 5) 齋藤 功: コーディネーター・シンポジウム「矯正用インプラントアンカー (仮称) を用いた矯正治療の現状と問題点」. 第 24 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009 年 6 月 21 日, 抄録集: 21-27 頁, 2009.
 - 6) 福井忠雄: 新潟大学医歯学総合病院・矯正歯科診療室における矯正用インプラントアンカー (仮称) を用いた矯正治療の現状と問題点. 第 24 回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009 年 6 月 21 日, 抄録集: 21-27 頁, 2009.
 - 7) 齋藤 功: 新潟大学における矯正治療のコンセプトおよび成人矯正治療の実践. 日本大学歯学部矯正歯科同門会総会・学術講演会, 東京, 2009 年 10 月 15 日.
 - 8) 齋藤 功: コーディネーター・臨床セミナー 1 「臨床セミナー 垂直的咬合異常の障害と診断および治療について」. 第 68 回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009 年 11 月 17 日, 抄録集: 81-84 頁, 2009.
- 【学会発表】**
- 1) Ochi-Yamazoe K, Yamazoe K, Morita S, Saito, I: A new system for analyzing the dentoalveolar morphology of skeletal asymmetry. European Orthodontic Society 85th Congress, Helsinki, 2009.6.10-14, European Journal of Orthodontics 31(4): e108-e109, 2009.
 - 2) Kanayama K, Watanabe N, Takeyama M, Morita S, Yamaki M, Ishii K, Saito I: Long-term changes in the axial inclination of the upper and lower incisors. 7th International Orthodontic Congress, Sydney, Australia, 2010.2.6-9. Program book: 140, 2010.
 - 3) Ishii K, Kanayama K, Saito I: The keys to long-term stability of extraction cases. 7th International Orthodontic Congress, Sydney, Australia, 2010.2.6-9. Program book: 140, 2010.
 - 4) Nihara J, Takeyama M, Kobayashi T, Fukuda J, Muto Y, Saito C, Takagi R, Saito I: Relationship between "Clinical classification of occlusion" newly established and lateral cephalometric analysis in patients treated by two-jaw surgery. 7th International Orthodontic Congress, Sydney, Australia, 2010.2.6-9. Program book: 138, 2010.
 - 5) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功, 井上 誠: 骨格性下顎前突症患者における嚙下時筋活動パターンの定量的評価, 日本顎口腔機能学会第 42 回学術大会, 新潟, 2009 年 4 月 11 日, 顎機能学会, プログラム・抄録集: 29-30 頁, 2009.
 - 6) 工藤和子, 高木律男, 寺尾恵美子, 児玉泰光, 朝日藤寿一, 小野和宏, 齋藤 功: 上顎前方移動術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能に及ぼす影響について, 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 27-29 日, 日口蓋誌 34 (2): 199 頁, 2009.
 - 7) 吉田留巳, 朝日藤寿一, 工藤和子, 焼田裕里, 小原彰浩, 吉居朋子, 須佐美隆史, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における口唇裂・口蓋裂患者に対する歯科矯正治療に関するアンケート結果について. 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 27-29 日, 日口蓋誌 34 (2): 195 頁, 2009.
 - 8) 竹山雅規, 朝日藤寿一, 金山 潔, 大石めぐみ, 小原彰浩, 小野和宏, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における口唇裂・口蓋裂患者の臨床統計調査. 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 27-29, 日口蓋誌 34 (2): 221 頁, 2009.
 - 9) 小林正治, 小田陽平, 泉 直也, 芳澤享子, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 齋藤 力: 唇顎口蓋裂患者に対する上下顎移動術後の顎骨安定性について. 第 33 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 東京, 2009 年 5 月 27-29 日, 日口蓋誌 34 (2): 159 頁, 2009.
 - 10) 丹原 惇, 竹山雅規, 小林正治, 福田純一, 武藤祐一, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 上下顎移動術施行症例における咬合状態の検討 (第 2 報) セファログラムによる歯・骨格的位置関係の分析. 第 20 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 仙台市, 2009 年 6 月 4-5 日, 日顎変形誌 19 (2): 101

- 頁, 2009.
- 11) 篠倉千恵, 井上 誠, 丹原 惇, 福井忠雄, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における嚙下時筋活動パターンの定量的評価. 第20回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 仙台市, 2009年6月4-5日, 日顎変形誌 19 (2) : 100頁, 2009.
 - 12) 小原彰浩, 寺田員人, 松原大樹, 越知佳奈子, 齋藤 功: 顔面軟組織と歯列模型の三次元統合データを応用した顔面口腔周囲軟組織形態の三次元分析法の開発. 第20回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会, 仙台市, 2009年6月4-5日, 日顎変形誌 19 (2) : 104頁, 2009.
 - 13) 宮城尚史: 下顎に3本の先天欠如歯を伴った下顎前突症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 57頁, 2009.
 - 14) 渡邊直子: 叢生を伴う偏位咬合. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 59頁, 2009.
 - 15) 小栗由充: 矯正用インプラントアンカー (仮称) を使用した上下顎前突症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 56頁, 2009.
 - 16) 福嶋牧子: 上顎中切歯の著しい唇側傾斜を伴うアングルⅡ級Ⅰ類症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 61頁, 2009.
 - 17) 中川麻里: 矯正用インプラントアンカー (仮称) を併用して治療を行った上顎前突症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 57頁, 2009.
 - 18) 渡辺 厚: アングルⅠ級上顎前突ハイアングル成人症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 59頁, 2009.
 - 19) 原田史子: 叢生を伴う成長期上顎前突抜歯症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 60頁, 2009.
 - 20) 福井忠雄: 叢生を伴う骨格性下顎前突症例. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 63頁, 2009.
 - 21) 宮城尚史, 福井忠雄, 福井華子, 齋藤 功: 顔面半側肥大症の歯科矯正学的所見. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 53頁, 2009.
 - 22) 焼田裕里, 小栗由充, 越知佳奈子, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院矯正歯科診療室における矯正用インプラントアンカー (仮称) の使用について. 第24回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2009年6月21日, 甲北信越矯正歯誌 17 (1) : 54頁, 2009.
 - 23) 篠倉千恵, 井上 誠, 福井忠雄, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者の嚙下時筋活動パターンについて. 平成21年度新潟歯学会第1回例会, 新潟市, 2009年7月18日, プログラム・抄録集: 18頁, 2009.
 - 24) 安島久雄, 高木律男, 荒井良明, 池田順行, 嵐山貴徳, 庭野将広, 西山秀昌, 福井忠雄, 高田佳之, 桜井直樹, 川崎真依子: 新潟大学医歯学総合病院顎関節治療部における高齢者顎関節症患者に関する臨床統計的検討. 日本顎関節学会, 東京, 2009年7月25-26日, 第22回日本顎関節学会大会プログラム・抄録集: 93頁, 2009.
 - 25) 篠倉千恵, 福井忠雄, 齋藤 功, 井上 誠: 骨格性下顎前突症患者の嚙下時筋活動-骨格性下顎前突症患者の嚙下時筋活動と手術前後での変貌-. 第15回日本摂食・嚙下リハビリテーション学会, 名古屋, 2009年8月28-30日, 抄録集: 343頁, 2009.
 - 26) 嵐山貴徳, 福田純一, 星名秀行, 宮城尚史, 齋藤 功, 高木律男: 末端肥大症に伴う下顎前突症に対して顎矯正手術を施行した1例. 第54回(社)日本口腔外科学会総会・学術大会, 札幌, 2009年10月9日~11日, 日口外誌 55: 230頁, 2009.
 - 27) 三瀬 泰, 森田修一, 丹原 惇, 齋藤 功: 上顎前突の治り方-矯正治療により下顎の後方回転はなぜ起こる?- 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集: 125頁, 2009.
 - 28) 朝日藤寿一, 大野葉子, 小野和宏, 小原彰浩, 工藤和子, 森田修一, 高木律男, 齋藤 功: 長期管理を行った正中唇裂の1例. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集: 279頁, 2009.
 - 29) 渡邊洋平, 森田修一, 高橋功次朗, 八巻正樹, 齋藤 功: 口唇裂・口蓋裂患者における裂型別の永久歯先天欠如の調査. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集: 248頁, 2009.
 - 30) 高辻華子, 森田修一, 渡邊洋平, 中川麻里, 八巻正樹, 齋藤 功: 口蓋裂単独患者における永久歯の歯数異常について. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正歯科学会大会プログラム・抄録集: 248頁, 2009.
 - 31) 丹原 惇, 竹山雅規, 小林正治, 福田純一, 武藤祐一, 齋藤 功, 高木律男, 齋藤 功: 上下顎移動術施行症例における咬合分類と側面セファログラム分析の関連. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡,

2009年11月16-18日, 第68回日本矯正科学会大会プログラム・抄録集: 214頁, 2009.

- 32) 原田史子, 福井忠雄, 澤田美穂, 杉山尚道, 齋藤 功, 齋藤 功: 上顎中切歯の短根に配慮し上下顎前歯部歯槽骨切り術とオトガイ形成術を併用した上下顎前突症例. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正科学会大会プログラム・抄録集: 268頁, 2009.
- 33) 金山 潔, 渡邊直子, 森田修一, 竹山雅規, 八巻正樹, 齋藤 功: 矯正治療終了後の咬合状態の長期的変化第2報-上下前歯部歯軸の長期的変化-. 第68回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2009年11月16-18日, 第68回日本矯正科学会大会プログラム・抄録集: 242頁, 2009.
- 34) Rahman F, 原田史子, 河野芳朗, 大石めぐみ, 齋藤 功, 前田健康: Expression of ASIC3 in the Periodontal Ruffini Endings. 第115回日本解剖学会総会・全国学術集会, 岩手, 2010年3月28-30日, 解剖学雑誌 第115回総会・全国学術集会抄録号: 145頁, 2010.

【研究会発表】

- 1) 竹山雅規, 中村順一: シンポジウム「High angle case でみられる下顎の時計方向の回転は生理的な方向の変化なのか?」, High angle case についての文献的考察. 第31回与五沢矯正研究会, 東京, 2009年4月20-21日, 31th 与五沢矯正研究会 抄録: 3頁, 2009.
- 2) 森田修一: シンポジウム「High angle case でみられる下顎の時計方向の回転は生理的な方向の変化なのか?」, High angle case について考える. 第31回与五沢矯正研究会, 東京, 2009年4月20-21日, 31th 与五沢矯正研究会 抄録: 7頁, 2009

【その他】

- 1) 齋藤 功: 成人矯正治療および限局矯正(いわゆるMTM)について. 新潟大学大学院・生体歯科補綴学分野・特別講演, 新潟大学, 2009年9月7日.
- 2) Saito I: Open bite and/or diverted bite treated orthodontically with or without orthognathic surgery. ロシア歯科医師講習会, 新潟大学, 2009年5月13日.
- 3) 宮城 尚史: CHARGEと歯科矯正について. CHARGE夏の集い2009, 新潟, 2009年7月25日.

【論文】

- 1) Kubota N, Hayasaki H, Saitoh I, Iwase Y, Maruyama T, Inada E, Hasegawa H, Yamada C, Takemoto Y, Matsumoto Y, Yamasaki Y: Jaw motion during gum-chewing in children with primary dentition. *Cranio* 28(1): 19-29, 2010.
- 2) Tokutomi J, Hayasaki H, Saitoh I, Iwase Y, Fukami A, Yamada C, Takemoto Y, Inada E, Yamasaki Y: Mandibular open-close motion in children with anterior crossbite occlusion. *Cranio* 28(1): 10-18, 2010.
- 3) Saitoh I, Yamada C, Hayasaki H, Maruyama T, Iwase Y, Yamasaki Y: Is the reverse cycle during chewing abnormal in children with primary dentition? *J Oral Rehabil* 37(1): 26-33, 2010.
- 4) Matsuyama J, Sato T, Abiko Y, Kato K, Hoshino E: Real-time PCR analysis of cariogenic bacteria in supragingival plaque biofilm microflora on caries lesions of children. In: *Interface Oral Health Science 2009, Proceeding*, Springer, New York, 271-272, 2010.
- 5) Sato T, Hoshikawa Y, Kondo T, Hashimoto K, Abiko Y, Hasegawa A, Matsuyama J, Takahashi N: Involvement of cough reflex impairment and silent aspiration of oral bacteria in postoperative pneumonia: A model of aspiration pneumonia. In: *Interface Oral Health Science 2009, Proceeding*, Springer, New York, 273-274, 2010.
- 6) Thaweboon B, Laohapand P, Amornchat C, Matsuyama J, Sato T, Nunez PP, Uematsu H, Hoshino E: Host β -globin-gene fragments of crevicular fluid as a biomarker in periodontal health and disease. *J Periodontal Res* 45(1): 38-44, 2010.
- 7) Iizawa F, Kinjoh N, Taguchi Y: Regional odontodysplasia: Long-term observation of a case on the mandibular left side. *Ped Dent J* 20(1): 103-109, 2010.
- 8) Kawasaki K, Matsuyama J, Taguchi Y, Mitomi T: Cross-sectional analysis of age-related changes in the fluctuation of bite size. *Ped Dent J* 20(1), 22-27, 2010.
- 9) Ishibasi O, Takizawa F, Yoshizawa T, Moksed AM, Iizawa F, Mera H, Kawashima H: Endoglin is involved in BMP-2-induced osteogenic differentiation of periodontal ligament cells